

「未来につなげよう！ 肥後ハマグリ」講演会



ハマグリ資源の保全と活用をテーマとした熊本市漁業振興協議会講演会が、熊本県漁業共同組合連合会で、平成19年7月25日に開催され(39名が参加)、内野センター長と逸見教授が招待されました。これは、熊本市と共に実施している政策創造研究センタープロジェクトの1つである「ハマグリをモデルとした水産資源の持続的利用のための管理技術の確立」の一環です。逸見教授が「日本のハマグリ、熊本のハマグリ」と「ハマグリ資源管理について」を講演し、東アジアにおけるハマグリ類の分布や系統、ハマグリ資源の生物学的な特徴、他地域でのハマグリ資源管理の例などを紹介しました。さらに、熊本県水産研究センターの生嶋登氏が「ハマグリ研究成果報告」を、熊本市水産振興課の中熊健二氏が「熊本市の取り組みについて」を講演されました。今後、各漁協を対象に講演・説明会を実施し、有効なハマグリ資源管理策が行われるように提言を行っていきたいと考えています。



公開講座 「有明海・八代海を科学する」 および体験実習

研究成果の地域への還元および干潟浅海域に関する環境教育の充実を目的として、平成19年10月3日～11月7日の毎週水曜日の18:30～20:00(計6回)に、一般市民を対象とした

公開講座「有明海・八代海を科学する」および熊本県水産研究センター・熊本大学合津マリンステーションでの体験実習が実施されました。有明海の問題に関する最新の研究成果を分かりやすく解説し、受講者とともに議論しました。受講者は20才から80才まで幅広く、毎回質問や議論が活発に交わされました。



第1回:10月3日
開催にあたって

内野明徳(熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター長)
「堆積物に記録された熊本沖有明海環境変化」
秋元和實(同センター准教授)

第2回:10月10日

「養殖ノリの環境ストレス応答」

瀧尾 進(同センター教授)

第3回:10月17日

「有明・八代海環境再生と防災、そして環境との調和」

滝川 清(同センター教授)

第4回:10月24日

「干潟底生生物の環境改変能力」

嶋永元裕(同センター准教授)

第5回:10月31日

「八代海の養殖業について」

「一知っていそうで、知らないこと」

中野平二(熊本県水産研究センター養殖研究部長)

第6回:11月7日

「有明海・八代海の生物と環境」

逸見 泰久(熊本大学沿岸域センター教授)

有明海・八代海再生のための 住民セミナーと意見交換会の開催

「有明海・八代海再生セミナーin有明海～有明海・八代海再生のため私たちにできること～」(熊本県主催)が、平成19年9月22日に、開催されました。この趣旨は、滝川教授が指導して纏めた「熊本県の有明海・八代海再生の基本方針(マスタープラン)」を住民に知ってもらい、皆で再生に向かって取り組もうというものです。長洲町の「ながす未来館」で、第1回が催され(約100名が参加)、滝川教授の基調講演に引き続き、森、川、海のそれぞれで活動しているNPOの事例が紹介され、その後、